

平成 30 年度 海外インターンシップ報告書

信州大学 工学部 情報工学科 4年

実習期間	平成 30 年 9 月 17 日(月)～ 9 月 21 日(金) 5 日間
実習企業	株式会社ユウワ
実習地	ベトナム・ホーチミン

1. 参加動機

私は大学生活を送るなかで、少しずつ海外に興味を持つようになり、短期留学などを通し将来は海外で働きたいと思うようになりました。大学生活では、様々な国を訪れましたがそのなかでも、去年、ベトナムを観光として訪れとても良い印象を持ちました。そして、ベトナムの若者の活気、近年の目覚ましい発展、そして親日国であることから、将来、働きたい国だと思うようになりました。そこで、今回はインターンシップとしてベトナムを訪れ、様々な日系企業を訪問したいと考え参加を希望しました。

2. ベトナムについて

ベトナムの正式名称はベトナム社会主義共和国です。数少ない社会主義の国です。昔は北と南で分断された二つの国でしたが、1976年に統一されました。国土面積は、約33万km²で、日本から九州を除いたのと同じくらいです。首都ハノイは政治の中心、ホーチミンは経済の中心と言われています。人口は約9270万人と世界で12番目に人口の多い国です。ベトナムの経済は近年急速に成長しています。それは社会主義に市場経済のシステムを取り入れるドイモイ政策と呼ばれる政策を推進してきたからです。その結果、外国からの投資も増え、今後さらなる発展が期待されています。

3. 実習日程

2018/09/17	ベトナム到着後 JETRO ホーチミン事務所訪問
2018/09/18	清水建設地下鉄工事現場の視察 ホーチミン市戦争博物館の見学 ホーチミン師範技術大学 スピーチ交換・交流会
2018/09/19	DDK ベトナム (DVL) 訪問 ユウワベトナム (YVL) 訪問 VSIP 事務所訪問 NIDEC サンキョウ訪問
2018/09/20	ホーチミン市内見学とショッピング

4. 訪問先

4.1 Jetro ホーチミン事務所

Jetro ホーチミン事務所では日本企業のベトナム進出をサポートするお仕事をされています。ここで投資アドバイザー近藤様から製造業における海外事業展開についてお話をして頂きました。調査報告によるとベトナムは製造業の海外事業展開において有望国第3位、またアンケート調査によると今後さらに海外進出の拡大を図ると回答した企業のうち、拡大を図る国については、ベトナムの選考比率が3年連続で増加し、2位に上昇しています。このことからベトナムは世界中の企業からとても人気があり将来を期待されている国だとわかりました。

4.2 清水建設地下鉄工事

清水建設は2020年、開通を目標に現在、地下鉄の工事をされています。日本国内のインフラは整ってきているため、近年はインフラを海外に輸出しようという考えから、たくさんの国に進出されているそうです。今回ホーチミン市内の工事を日本の企業が任せられた理由は、日本は都市部の繊細な工事を得意としているからだそうです。私自身、土木系のことは詳しくないですが、お話を聞くうちに、日本は世界に誇れる土木技術を持っているということがわかりました。しかし、最近になり、中国、韓国も着々と日本に近いてきているそうです。

4.3 戦争博物館

戦争博物館にはベトナム戦争に関する写真や保管物、戦車や戦闘機、武器などが展示されています。戦争博物館へは個人的に1回訪れたことがあったため、2回目の訪問となりました。1回目と2回目ではやはり、衝撃はかなり違います。今回は冷静に館内を見ることができましたが、1回目に訪れたときは衝撃を受け、少し気分も悪くなったことを覚えています。館内には目を背けたくなる数々の写真がありました。特に枯葉剤の影響はベトナム戦争の特有のもので、何世代も後にまでその影響は続きます。

私たちは戦争のない日本、時代に生まれたため、戦争を遠い存在に感じてしまっていますが、実際は現在もどこかで戦争が行われているということを頭に置き生活するべきだと思います。そして世界平和とは地球上人類の共通の課題として、全員が向き合っていかなければならないと思いました。



戦争博物館前で集合写真

4.4 ホーチミン師範技術大学

ホーチミン師範技術大学はベトナムの国立大学で、国内ではトップクラスです。また理系分野だけを扱っている大学です。工学系が多く、エンジニアを目指す学生が多く在学しています。ベトナムでは外資系企業が人気で、日系企業も人気が高いです。この学校でも多くの学生が日本企業を目指し日本語や日本の文化などを勉強しています。

ここでは日本の学生とベトナムの学生がスピーチ交換を行いました。そして、一緒にダンスを踊り、ゲームをして交流を深めました。学生の多くは日本語が堪能で、日本語で話しかけてくれました。同世代の学生との交流はとても楽しく、たくさん友達ができました。ベトナムの学生は日本の学生と比べると、明るく、フレンドリーな印象でした。



交流会での集合写真

4.5 DDK ベトナム

DDK ベトナムは主にコネクタを製造しています。本社は東京にあり、工場は、国内で栃木、国外では、タイ、上海、ベトナムに置いています。ベトナム工場は 450 人の従業員で、ベトナム人にマネージャーの仕事なども任せているそうです。現在 DDK ベトナムが力を入れていることは、自動化です。ユニットごとに自動化を図り人件費削減を目指しています。しかし、現在は、欠陥品などを調べる過程はほぼ人が行っています。従業員のやる気向上のため、欠陥品を見つけたら、現金でボーナスを渡すなどのシステムあります。

4.6 ユウワベトナム

飯高社長はベトナム人がもっと経営に携わってもっと任せられるようになりたいとおっしゃっていて、ベトナム人にそれほど、信用と期待をされているのがわかりました。ユウワベトナムでも近年、人件費が上がってきているため、自動化を促進させたいとのことでした。工場内で、欠陥品の検査をしている人が多く目立ったので、ここの過程を自動化できれば理想だと思いました。そのためには、画像処理などソフトウェアの部分をまず向上させなければならないと思います。

4.7 VISP 事務所

VISP とはベトナム・シンガポール工業団地の省略で、シンガポールの後を追うため両国からの協力により始まったプロジェクトです。もともとゴム園だった土地を開拓し、VISP 団地として環境を整え、現在はここに 574 社もの会社が入っています。VISP 団地はホーチミン中心とも近く、程よい場所だそうです。しかし所長のお話では、ただ働くための場所ではなく、将来的には生活の場所になることを目指しておられるそうです。ここには日本だけではなく世界各国から様々な企業が進出しています。

4.8 NIDEC サンキョウ

NIDEC サンキョウ長野に本社があり、世界 43 ヶ国に展開しています。ベトナムにはハノイとホーチミンに工場を置いています。このホーチミン工場は 3200 人以上の従業員で今まで見学した中でもっとも規模の大きい工場でした。主にモーターを製造されているそうです。現在は日本人が役職に就き、マネージメントしたり、技術を教えたりしていますが、将来的にはすべてベトナム人に任せられるようにしたいそうです。社員の方は皆さん気さくで、私生活の話などをたくさんしてくださいました。ホーチミンは本当に住みやすく、日本より良いとおっしゃる方もおられました。

5. 実習を終えて感じたこと

今回のインターンシップにより、世界のものづくりを目で見て、肌で感じる事ができたと思います。中国をはじめ、各国で、すさまじい勢いでものづくり技術が伸びてきていることに圧倒されました。それと同時に、日本が世界に誇れる技術もしっかりあるということがわかりました。その技術を日本発のグローバルなものにしていくべきだと思います。そこで問題になるのが人材ではないでしょうか。どんな技術もそのコアになるのは人材です。人材のレベルがその国のレベルになると思います。

6. 将来に向けて

日本の大学生に比べ他国の大学生は高い学習意欲とグローバル的な思考があるように思えます。日本の教育も変えていかなければ、将来、次々と他国に抜かされてしまうのではないのでしょうか。これらを踏まえ、私は若いうちから海外に出て、グローバルな思考とつねにハングリー精神で新しいものにチャレンジしたいと考えています。そして将来は世界活躍したいです。インターンシップにより将来海外で働きたいという気持ちがより明確なものになりました。

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

これからの仕事は、海外との繋がりなしでは、やっていけなくなると思います。ですので、是非、海外インターンシップという素晴らしい機会に、チャレンジしてみてください。大学の先生方も、企業の方々をしっかりサポートして下さると思います。

8. 謝辞

最後になりましたが、改めまして、株式会社ユウワの皆様、訪問や見学をさせていただいた企業の皆様。今回のインターンシップでは貴重な体験をさせて頂き本当にありがとうございました。世界で活躍できる人材となれるよう、日々精進いたします。



最終日のタンソンニャット空港